

平成27年8月31日

国土審議委員会北海道分科会意見陳述

本日は新たな北海道総合開発計画策定に当たっての中間整理を行う、この大変重要な会議での御挨拶の機会を頂きありがとうございます。

中間整理の議論の過程でも指摘されておるようですが、北海道の未来を考えると、やはり広い道内の中で過疎化が進む多くの地域と札幌を中心とする都市圏がともに発展し続けることの重要性というものは最も重視していく必要のあるポイントだと思っております。北海道がわが国の北の玄関口「ゲートウエー」であること、そして「食糧供給基地」としての重要な機能を今後も維持発展させていくために、道内の郡部での人口減少対策はしっかり講じていく必要があります。

観光を始めとする道内産業の振興のために大きな期待を受けている北海道新幹線の開通まであと少しの所までできました。早期の全面開通を力強くお願い申し上げますのは当然でございますが、一方でローカル路線の廃線という残念な動きもございます。

北海道の持つ沢山の魅力、強みを考えると、自然や豊かな海の幸、山の幸がまず頭に浮かびますが、こういったものを消費地に届け、多くの都会の人々に北海道の自然を楽しんでいただくためには、新幹線は勿論ですが、道内全域での高速道路インフラ、ローカル鉄道網もある程度重要であります。

先ほども、申し上げましたが北の玄関口としての北海道の強みということであると、やはりロシア・シベリア地域との距離的な近さということがございます。シベリアには豊かな天然資源が存在するということで、ロシアからのパイプライン敷設が進むことで、北海道は農産品や水産物に加えて、天然資源、エネルギー産業の拠点としても大きな発展の可能性を有しております。

現在、ロシアとの関係は難しい局面を迎えていることは事実ではありますが、しっかりと北海道がエネルギー産業を軸に経済的にも力強く発展していくことは、対ロシア関係の進展にも大きなプラスの影響をもたらすでしょうし、国の安全保障の観点からも、国境線に近い北海道の地に、より多くの人々が住み続けられる環境を維持していくことの意義は非常に大きいものがあります。

中間整理の中でも「世界に目を向けて」という考え方を大事にしておられるようですが、まさに世界を見据えて、日本の国全体を様々な分野でしっかり支える北海道の基盤作りを進めるために、私も道内選出議員の一人として、国土交通省の皆様ともしっかりと協力しながら、力を尽くして参りたいと思っております。

どうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。

松木けんこう